

夕刊東北新報

本紙一月十錢
郵政三三三號
廣告料一行五錢
發行所 仙台市
印刷所 仙台市
電話 二二七
日新報社 東北日
新報社 仙台市

日本坑夫組合が分裂して常磐炭坑夫組合が生れた新組合は日本大衆黨を脱退して社会民衆黨を支持する事になった。右傾から左傾して行く事も自然の勢であるならば、左傾から右傾して行く事も自然の勢である。

産業の發達と一般交通に 大支障を來して居た 平町大工町踏切問題は 永久に改築不可能と決定す

平町大工町の所謂踏切問題が運動する地下道が出来ると更に開鑿の意嚮ないこと明らかとなつた。一時間問題は終息の形であつたところ最近踏切側は

中等学校の志願者 激減は何を意味したか？ 不成績の遠慮から

平町に於ける中等學校の入学願書受附数は既報の通り各校とも昨年度より何れも一割乃至二割の減少を示してゐるが右に關し各校當局ではいすれも同じ様に語る志願者が激減したといふことは第一に試験制度の

元平銀行の 不良貸水 泡 湯本の博徒檢擧

元平銀行が常磐銀行との合併について不良貸付五十萬圓の整理をなすべく新田目阿部徳衛(四七)同二犯志賀外六重が委員となり整理に努力して來たが財界の不況と常磐との合併とで全く崎方で現金かけの花合せ難進せざる整理されたものは博徒開帖してゐるのを平署探員側では業を煮やし最後の騎外三名を逮捕したが水野

在郷軍人四倉分會長が 福島毎日新聞を告訴す

四倉町消防組頭在郷軍人分九平が取扱つてをりその間分會疑獄云々の問題は却つ會長門馬倉次郎氏は十三日に不正の事實があるとして疑獄に陥り民政派の幹部福島毎日新聞を相手取り名は佐藤の關係した事で一切某々等が却つて關係してゐる事實が公けになるのである起した福毎が十三日の紙上の事である此の分會問題のまいかと語つてゐるこの於て在郷軍人分會に疑獄は門馬氏が戸田氏の後をついて問題が如何に解決するか相當注目されてゐる

四倉の町政 悪化益々紛争

四倉町は民政兩派の勢力が相伯仲してゐる爲めに福毎に兩派が衝突し最近に於ける實例を挙げれば後任町長決定問題消防組頭問題今度の在郷軍人分會問題等に兩派がお互にアラを拾つて反對をしたり悪言傳を行つたりしてゐる後任町長は政友派が新妻盛氏を推し一方民政派は現助役菅波千之助氏を推してゐる兩派が相譲らない爲に未だに決定を見ずにある仕末である次に消防組頭は民政等の戸田氏が辭任政友等の門馬氏が就任したの反對をなし門馬氏が在郷軍人分會長なるのを奇貨とし不正疑獄問題云々と言つて騒ぎ立てたもの兩派の紛争は今後益々激烈さを加へるものと見られてゐる

筆洗ふ前に
▲平署の某高等刑事課毎日盛んにM新聞支局通ひしなるが一体M新聞支局に高等の出張所でもあるんですか(早耳生)▲山形屋の〇〇さん近頃あの人とあんまり歩かない様だが縁でも切つたのか(二町目生)

平 改築着手 平驛舎の改築工事は愈々十三日かから驛前廣場に假驛舎を設けて着手したが本工事は四月十日頃からである

元平銀行の不良貸水 泡 湯本の博徒檢擧 今日平署で十三日正午頃湯本町字八仙居住前科六犯水野幸前科四犯箱崎甚太郎(四九)同三犯阿部徳衛(四七)同二犯志賀外六重が委員となり整理に努力して來たが財界の不況と常磐との合併とで全く崎方で現金かけの花合せ難進せざる整理されたものは博徒開帖してゐるのを平署探員側では業を煮やし最後の騎外三名を逮捕したが水野

在郷軍人四倉分會長が福島毎日新聞を告訴す 却つてやぶへびに終るらしい

四倉町消防組頭在郷軍人分九平が取扱つてをりその間分會疑獄云々の問題は却つ會長門馬倉次郎氏は十三日に不正の事實があるとして疑獄に陥り民政派の幹部福島毎日新聞を相手取り名は佐藤の關係した事で一切某々等が却つて關係してゐる事實が公けになるのである起した福毎が十三日の紙上の事である此の分會問題のまいかと語つてゐるこの於て在郷軍人分會に疑獄は門馬氏が戸田氏の後をついて問題が如何に解決するか相當注目されてゐる

四倉の町政 悪化益々紛争 四倉町は民政兩派の勢力が相伯仲してゐる爲めに福毎に兩派が衝突し最近に於ける實例を挙げれば後任町長決定問題消防組頭問題今度の在郷軍人分會問題等に兩派がお互にアラを拾つて反對をしたり悪言傳を行つたりしてゐる後任町長は政友派が新妻盛氏を推し一方民政派は現助役菅波千之助氏を推してゐる兩派が相譲らない爲に未だに決定を見ずにある仕末である次に消防組頭は民政等の戸田氏が辭任政友等の門馬氏が就任したの反對をなし門馬氏が在郷軍人分會長なるのを奇貨とし不正疑獄問題云々と言つて騒ぎ立てたもの兩派の紛争は今後益々激烈さを加へるものと見られてゐる

筆洗ふ前に
▲平署の某高等刑事課毎日盛んにM新聞支局通ひしなるが一体M新聞支局に高等の出張所でもあるんですか(早耳生)▲山形屋の〇〇さん近頃あの人とあんまり歩かない様だが縁でも切つたのか(二町目生)

松竹作品!
戀を拾った男

原作 柳本清
脚色 豊田四郎
監督 島津保次郎
撮影 桑原昇
主演 渡邊篤
龍田静枝

里見静江は美貌で明るい性格の所有者で殊に自動車ドライブは鮮やかな近代的女性であつた。そして近くは叔父の莫大な遺産を繼承すべき幸運に恵まれてゐた。彼女の周囲に群る狼連の一人に、木崎充介といふドラマチックも巧みで自惚れ強い男が静江を我が物にせんと焦つてゐた。或る日木崎は静江に最後の返事を強請した。絶對絶命の彼女は前方に寫生してゐた未知の青年を許す婚だと云つて木崎の強迫から免れた。彼女と相知つた青年画家は次第に彼女の美ぼうに魅惑され二人の交情が進むにつれて静江をモデルとして描く事を約した。静江が二十一才のたん生日を迎へた時、幾多の青年が喜びに來た、彼女は青年達の目的が彼女自身ではなく莫大な財産であると認めるから断然絶交すると、言明した。青年画家秋原隆吉はある漁師の家を借りてゐる貧乏にして物固い男であつた。静江としてからは毎日海岸でモデルとして彼女の姿をながめてゐた、其の内二人の間に禮金約束に形式だけの結婚式が挙げられた。

彼女の管理人岡田弁護士は云つた。里見家の遺産も完全に繼承されて安心したが行衛不明の準一判明の時は遺産全部をその人に渡してくれと附言した。

金を與へられて彼女と別れた隆吉は静江を慕ふ一念から遂に一大傑作を描いた、展覽會場を彩る「海濱の女」こそは彼の作品であつた。彼の名聲は今や世人の羨望する處となつた。静江は隆吉の作が特選となつた新聞記事を見て驚いた、木崎も驚いた、木崎の驚きは記事中の獨身の二字であつた。その後静江は隆吉の居る寺を訪ねたが逢へなかつた。かくて隆吉は佛蘭西に去る可く最後の手紙を彼女に送つた。彼女に煩悶の日は續く時相續者の準一が奉天にゐるとの電報を受取つた。

木崎は屢々彼女に戀をいひみ遂にビストルを以つて強迫した時、木崎を仆して彼女を救つたものは隆吉であつた。二人の心が解け合つて信賴することが出來た時電報の誤りが岡田から傳へられた。歡喜に満ちた隆吉は自分は戀を拾つた男であつたと彼女に囁いた。

住宅向の
貸家あり
平白銀町
石島

●祝 創 刊!!

衆議院議員

比佐昌平

縣會議員

野崎滿藏

湯本町會議員

若松忠兵衛

湯本信用無盡株式會社

電話 四七番

湯本町

丸正運送店

電二十一番

湯本藝妓屋組合

高級車貸切

小名濱 上遠野
入遠野 東白河郡
大原 平 行
●●●●貸切乗合●●●●

湯本驛前

高岡自動車部

電話 五七番

十四日替り映畫御案内

市川右太衛門……主演
酒井忠輔
忠輔が城中を飛出して自由放浪の旅に出でしよりの道中戀慕調……

渡邊篤……龍田静江……主演
松竹珍優……篤の獨占舞台……
戀を拾つた男
戀を拾つたと言ふ妙な話……然し喜劇に非ず悲劇に非ず活劇に非ず正劇に非ず篤の苦心を見てやつて下さい

河部五郎……努力篇
原田甲斐
村上浪六先生苦心の大史實新譯……反逆者と世に傳へられた原田甲斐の誠忠義心は未だ世人之れを知らず浪六の筆に完る甲斐の本心を聞かれよ

來週(特別) 會我廻家五九郎主演
沙婆の風 平館

イスミテーブルの御用命は
本箱ミツクエ
丸ほん
三丁目・電三五九
月見町工場・電七二三